

## 円頓寺商店街から四間道へ

名古屋国際センターの「評議員会」に出席する機会に円頓寺を訪ねた。研究科長になるとセンターの評議員になり、議長役を務めるのが慣例となっている。それで年2度の評議員会に出席して議長を担当してきた。最初は緊張したが、いまは慣れてスムーズに会議を進めている。今回が最後の「評議員会」である。

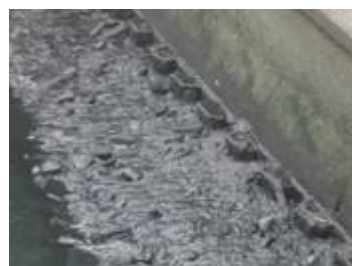
円頓寺商店街を訪れるのは久しぶりである。平日の昼過ぎではあったが、相変わらず人通りは少なかった。前よりも空き店舗も増えている感じだ。社会調査実習の報告会を行った「ふれあい館」の催事案内を見ても空白が目立っていた。『商店街をどうしょうてんがい』という調査報告書のなかに、活性化に向けた提案も書かれているが、あらためて商店街の厳しい現実を思い知らされた。



定期催事案内	
午前	夜間
ふれあい館	ふれあい館
ふれあい館	ふれあい館
ふれあい館	ふれあい館
ふれあい館	ふれあい館
ふれあい館	ふれあい館
ふれあい館	ふれあい館
ふれあい館	ふれあい館
ふれあい館	ふれあい館
ふれあい館	ふれあい館

商店街から堀川に向かい、五条橋か

ら写真を撮った。堀川の浄化が叫ばれて久しいが、一定の改善もみられるが、川にはヘドロがたまっていた。名古屋市は木曾川から毎秒0.4トンを導水する実験費を新年度予算に盛り込んだ。堀川の浄化は名古屋の環境とまちづくりにとって重要な課題であり、今後の動向に注目していきたい。



それから四間道のほうに向かった。写真のような「町家」が数軒あり、なかなか風情がある。

商店街や堀川とともに、こうした景観も大切にしていきたいものだ。ここから少し歩いて名古屋駅のほうを眺めると、超高層ビルが林立しており、「都市再生」という現実を考えさせられる。



(2006年2月16日 記)